



お盆が過ぎ、吹く風に秋の気配が感じられる季節になりました。日中はまだまだ暑くなる日もありますので、屋外活動の際は熱中症には十分に気をつけましょう。

＜感染症流行状況＞ ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

流行状況	疾患	発生状況等
非流行	手足口病	第33週に管内は非流行になりました。また、県全体での患者報告数も減少してきています。しかし、他地域ではまだ流行しています。
非流行	RSウイルス感染症	管内では、第32週に患者報告がありましたが、第33週はありませんでした。しかし、他地域ではまだ流行しており、従来秋～冬に流行する感染症ですので、引き続き手洗い・咳エチケットの感染予防策に努めましょう。

＜今月のトピックス＞ RSウイルス感染症

① 〈症状〉 発熱、鼻汁、咳など
多くは軽症ですむが、重症の場合は
気管支炎、肺炎を引き起こすこともある。
基礎疾患を有する小児や6か月未満の
乳児は重症化しやすく注意が必要。

② 〈感染経路〉 飛沫感染、接触感染

咳やくしゃみ又は会話をした際に
飛び散るしぶきを吸い込むことでおこる飛沫感染、ウイルスが
ついた手でおもちゃ等に触ったりそのおもちゃ等を
なめたりすることによる間接的な接触感染が主な感染経路



③ 〈発生状況〉

発症が多いのは0歳児と1歳児

- ・ 何度も感染を繰り返す
- ・ 風邪に似た症状のため、RSウイルス感染症と気付かず、感染が広がりやすい
- ・ 9月頃から流行し初春まで続くとされているが、近年では夏頃から流行している

④ 〈重症化の見分けポイント〉

咳がひどくなる、“ゼーゼー、ヒューヒュー”という喘鳴を伴った呼吸困難が
みられる場合は注意が必要！

⑤ 〈予防方法〉

- ・ 流水や石けんによる手洗い又はアルコール製剤による手指衛生を習慣的に行う
- ・ 子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールで消毒する
- ・ 咳の出る方は咳エチケットを心がける

